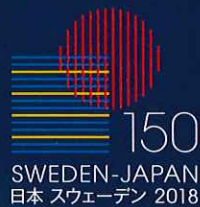


日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念コンサート
ボーhusレーン・ビッグバンド
MEETS
伊藤君子/木住野佳子/TOKU



BOHUSLÄN BIG BAND
MEETS
KIMIKO ITOH
YOSHIKO KISHINO
TOKU

BohuslänBigBand

「北欧を代表する世界的なボーhusレーン・ビッグバンド来日！
日本を代表する人気の伊藤君子、木住野佳子、TOKUと共演」



木住野佳子 (p)



TOKU (flh/vo)



伊藤君子 (vo)

2018 10.29 月 開場18:00 / 開演18:30

江東区文化センター

(東京メトロ東西線「東陽町」1番出口より徒歩5分)

〈全席指定〉一般 6,000円 (税込) / ティアラ友の会 5,400円 (税込) ※当日は各500円増 ※未就学児入場不可

〈プレイガイド〉

江東区文化センター……03-3644-8111 <https://www.kcf.or.jp/koto>

チケットぴあ……0570-02-9999 (Pコード:118-599)

CNプレイガイド……0570-08-9999

アオイチケット……<http://cncn.jp/aoi>

※その他江東区内各文化センター、総合区民センター、ティアラこうとう、深川江戸資料館にて取り扱います。

〈お問合せ〉江東区文化センター: 03-3644-8111 / アオイスタジオ: 03-3585-6178

主催: アオイスタジオ

共催: 公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 江東区文化センター

後援: スウェーデン大使館

協力: YAMAHA

企画制作: オールアートプロモーション / ヨシヨシ・ミュージック

チケット発売日

7.10(火)

ティアラ友の会7.8(日)



● PROFILE ●

ボーヒュスレーン・ビッグバンド / Bohuslän Big Band

「A WORLD CLASS JAZZ ORCHESTRA」(国際レベルのジャズ・オーケストラ)これは長年の活動において、ボーヒュスレーン・ビッグバンド(Bohuslän Big Band)がゲストとして迎えたミュージシャン、ソリスト、作曲家、指揮者から、たびたび頂くコメントです。
私たちは、この賛辞を感謝の気持ちで受けとめ、これに甘んじることなく、私たちらしいアンサンブルと音楽の探究を続け、伝統を守ると同時に創造性の限界に挑戦します。ボーヒュスレーン・ビッグバンドは、創造性が高く新しい挑戦を続けるビッグバンドです。
音楽界において私たちが躊躇することは何もありません。伝統と独創性の素晴らしいバランスを武器に最前線で活躍し、世界中から素晴らしい評価を受けています。長年にわたる活動において、グレゴリー・ポーター (Gregory Porter)、カーラ・ブレイ (Carla Bley)、ジョー・ロヴァーノ (Joe Lovano)、ヴィンス・メンドーザ (Vince Mendoza)、マリア・シュナイダー (Maria Schneider)、ニルス・ラングレン (Nils Landgren)など多くの有名人と共演しました。
ボーヒュスレーン・ビッグバンドはアルバム「Pegasus」でアレ・ミュラーと共にグラミー賞にノミネートされました。
今回の来日メンバーは、サムエル・オルソン(Tp) /ロビン・リードクヴィスト(Tp) /レナート・グラン(Tp) /ヤン・エリアソン(Tp) /ニクラス・リード(tb) /クリステル・オロフソン(Tb) /ハンネ・スモーヴィーク(tb) /イングリッド・ウツェネ(Btb) /ヨアキム・ローランドソン(As/FI/Cl) /マッティン・スヴァーンストゥルム(As/FI/Cl) /ビョーン・セーデルグレン(Ts/FII/Cl) /ミカエル・カールソン(Ts/FI) /アルベルト・ピントン(Bs/Bc/Bf/FII/Cl) /ステファン・ヴィンゲルフォシュ(Pf/Key) /森泰人(B) /ヨーラン・クーロン(Ds)。
bohuslanbigband.com

伊藤 君子 / Kimiko Itoh (vo)

香川県小豆島生まれ。これまで17枚のアルバムを発売、数々の受賞歴に輝く日本を代表するジャズ・シンガー。
活動の場は日本にとどまらず海外にも及ぶ。1989年にはソニー・ミュージックから発売されたアルバムがアメリカの「ラジオ&レコード誌」で16位にチャートインするという日本人初の快挙を成し遂げている。
1997年には小曽根真とのデュオでスイス・モントルーの「モントルー・ジャズ・フェスティバル」に出演(ライブ録音盤が発売中)、2010年には、パリ、ローマ、セネガルで公演、その他にもヨーロッパ、アジア諸国で公演を行っている。
最新アルバムは2017年5月に日本コロムビアより発売された「Kimiko Itoh sings HIBARI〜伊藤君子、ひばりを歌う」。
www.kimikoitoh.com

木住野 佳子 / Yoshiko Kishino (pf)

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部でクラシックを学び、卒業後、1995年アメリカの名門レーベルGRPよりアルバム『フェアリー・テイル』で日本人初の国際的なアーティストとして世界デビューを飾り、以降、毎年アルバムをリリースする。
1999年発売の「You Are So Beautiful」はジャズでは異例の6万枚をセールスした。
2002年にはピアノのベアゼンドルファー(ウィーン)とオフィシャル・アーティストとして契約。
2015年にはCDデビュー20周年を迎えユニバーサルミュージックより、通算19枚目のアルバム「Anthology -20th anniversary-」をリリース、2016年にかけてブルーノート東京、ビルボードライブ大阪など全国10カ所で発売記念ツアーを行った。
アルバムでは、スイングジャーナル誌ゴールド・ディスクを、過去4回受賞している。
演奏活動は毎年、年間40〜50日のコンサート、ライブの他、海外でもニューヨーク、台湾、韓国、近年はスウェーデン、イタリア、フランスでも演奏活動を行う、人気、実力ともトップアーティストとしての地位を築いています。
優美で端正なそのピアノとサウンドはジャズの域を超え、独自の音楽性を確立し、人気、実力派ピアニストとして不動の地位を得ている。
www.kishino.net

TOKU (vo/flh/tp)

日本唯一のヴォーカリスト&フルーゲルホーンプレーヤー。
父親の影響でノンジャンルで音楽に親しみ、中学時代にブラスバンドで初めての楽器コルネットを手にする。
2000年アルバム「Everything She Said」でSMEよりデビュー。デビュー当初から注目を集め、その年の8月には早くもブルーノート東京に出演。
また、アルバムはアジア各国でもリリースされ、積極的に海外での公演も行っている。
ジャズの枠を超えた幅広い音楽性から、m-flo、平井堅、Skoop On Somebody、今井美樹、大黒摩季、などのアルバムに作家、プレイヤーとして参加。
2008年に発売したアルバム「Love Again」は初のDuet SongをExileのATSUSHI氏を迎えて収録。また、2011年3月の東日本大震災の直後に行われた、シンディー・ローパーの国内ツアーにも参加し、話題となる。そして2011年4月27日、本人がずっと温めていた企画「TOKU sings & plays STEVIE WONDER〜A JAZZ TRIBUTE FROM ATLANTA」を発売。2015年10月、フランクシナトラの生誕100周年を記念して全曲シナトラのカバーアルバムを発売、そのレベルの高さに各所で大絶賛を浴びる。2017年6月、SHAKE発売。このアルバムはTOKUならではの他ジャンルの様々なアーティストとの交歓を実践しジャンルを超えて一つの繋がりをもちたいというTOKUの思いが込められている。
www.toku-jazz.com

● 会場へのアクセス ●

江東区文化センター

〒135-0016 東京都江東区東陽4-11-3
TEL: 03-3644-8111

東京メトロ東西線「東陽町」1番出口より徒歩5分

